

回数	散布時期	対象病害虫	薬剤名	倍率(100%当り薬量)	収穫前日数	回数	10a散布量	摘要
特別①	4月上旬~中旬 (カイガラムシ類幼虫の発生タイミングにあわせて実施すること)	カイガラムシ類幼虫	展着剤(アピオンE) アフロード水和剤	1000倍 100 ml 1000倍 100 g		開花期まで 2回以内	200 ^{リットル}	カイガラムシ類の発生がある園地では、粗皮を削り本剤を散布する。
1	5/15~20	落葉病 うどんこ病 炭疽病	展着剤(ハイテンパワー) オキシンドー水和剤80	5000倍 20 ml 1000倍 100 g	14日前まで	5回以内	300 ^{リットル}	
		カキクダアザミウマ チャノキアザミウマ	ジェイエース水溶剤	1500倍 66 g	45日前まで	2回以内		
		落葉病 うどんこ病 炭疽病 灰色かび病 すす点病	展着剤(ハイテンパワー) ベルコート水和剤	5000倍 20 ml 1500倍 66 g	14日前まで	3回以内		
2	開花始期 (6/1~5頃)	チャノキアザミウマ カキクダアザミウマ カメムシ類	ロディー水和剤(劇)	1500倍 66 g	7日前まで	3回以内	300 ^{リットル}	前年落葉病が発生した圃場では、2回目から6回目の防除は規定散布量を必ず行う。 ※防除の効果を高めるため、開花始期を目指して散布を行う。
		落葉病 うどんこ病 炭疽病	ドキンフロアフル	1000倍 100 ml	14日前まで	5回以内		※カメムシ類が多い場合はエルサン水和剤40(劇)、800倍(収穫30日前まで、4回以内)を加用してもよい。
特別②	6/10頃	落葉病 うどんこ病 炭疽病	ドキンフロアフル	1000倍 100 ml	14日前まで	5回以内	300 ^{リットル}	※カメムシ類が多い場合はエルサン水和剤40(劇)、800倍(収穫30日前まで、4回以内)を加用してもよい。
3	6/20~25	落葉病 炭疽病 うどんこ病	展着剤(ハイテンパワー) スコア顆粒水和剤	5000倍 20 ml 3000倍 33 g	前日まで	3回以内	300 ^{リットル}	葉面散布石灰資材(フォリオマックス)を混用すると果実の硬度維持や黒変果の軽減が期待できる。但しリン酸資材とは併用不可。 カイガラムシ重点防除回 カイガラムシ類の発生が多い圃場では、3回目から5回目まで枝幹部へも薬液がかかるように実施する。
		カイガラムシ類 カキノヒメヨコバイ アザミウマ類 カキノハタムシガ カメムシ類	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	2000倍 50 g	前日まで	3回以内		
		落葉病 うどんこ病 炭疽病	展着剤(ハイテンパワー) スコア顆粒水和剤	5000倍 20 ml 3000倍 33 g	前日まで	3回以内		
		落葉病 うどんこ病 炭疽病	展着剤(アピオンE) ペンコゼフ水和剤	1000倍 100 ml 500倍 200 g	45日前まで	2回以内		
4	6/30~7/5	落葉病 炭疽病	展着剤(アピオンE) ペンコゼフ水和剤	1000倍 100 ml 500倍 200 g	45日前まで	2回以内	300 ^{リットル}	ペンコゼフ水和剤散布時に「肌のかぶれ症状」が発生する方はシマンダイセン水和剤500倍(収穫45日前まで、2回以内)を使用してもよい。 ※カメムシ類が多い場合はテルスター水和剤1000倍(収穫14日前まで、2回以内)を加用してもよい。
		チャノキアザミウマ カイガラムシ類	コルト顆粒水和剤	3000倍 33 g	前日まで	3回以内		
5	7/10~15	落葉病 うどんこ病 炭疽病	展着剤(ハイテンパワー) オキシンドー水和剤80	5000倍 20 ml 1000倍 100 g	14日前まで	5回以内	300 ^{リットル}	
		アザミウマ類 カメムシ類 コナカイガラムシ類	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍 50 g	3日前まで	3回以内		
		落葉病 うどんこ病 炭疽病 灰色かび病 すす点病	展着剤(ハイテンパワー) ベルコート水和剤	5000倍 20 ml 1500倍 66 g	14日前まで	3回以内		
6	7/25~30	アザミウマ類 カイガラムシ類 イラガ類 ハスモンヨトウ	オリオン水和剤40(劇)	1000倍 100 g	21日前まで	1回	300 ^{リットル}	※カメムシ類が多い場合はエルサン水和剤40(劇)、800倍(収穫30日前まで、4回以内)を散布してもよい。
		落葉病 うどんこ病 炭疽病 灰色かび病 すす点病	展着剤(ハイテンパワー) ベルコート水和剤	5000倍 20 ml 1500倍 66 g	14日前まで	3回以内		
		アザミウマ類 カイガラムシ類 イラガ類 ハスモンヨトウ	展着剤(ハイテンパワー) ベルコート水和剤	5000倍 20 ml 1500倍 66 g	14日前まで	3回以内		
特別③	8/10頃	うどんこ病 炭疽病	オンリーワンフロアフル	3000倍 33 ml	前日まで	3回以内	300 ^{リットル}	カメムシ類が多い場合は必ず散布する。 (枝幹部へも薬液をしっかりとかけましょう)
		カイガラムシ類 カキノヒメヨコバイ カキノハタムシガ アザミウマ類、カメムシ類	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	2000倍 50 g	前日まで	3回以内		
7	8/25~30	すす点病 落葉病 炭疽病	展着剤(ハイテンパワー) トップジンM水和剤	5000倍 20 ml 1500倍 66 g	前日まで	6回以内	300 ^{リットル}	この回まで十分な液量でしっかりと防除する。 ※フジコナカイガラムシの発生が確認されている圃場では、ロディー水和剤に替えてスミチオン水和剤40 1,000倍(収穫30日前まで、3回以内)を散布してもよい。その際、早生品種の収穫時期に十分留意する。
		チャノキアザミウマ カキクダアザミウマ カメムシ類	ロディー水和剤(劇)	1500倍 66 g	7日前まで	3回以内		
		うどんこ病 炭疽病 落葉病	展着剤(ハイテンパワー) ナリアWDG ***	5000倍 20 ml 2000倍 50 g	前日まで	2回以内		
		アザミウマ類 カメムシ類 コナカイガラムシ類	展着剤(ハイテンパワー) アクタラ顆粒水溶剤	5000倍 20 ml 2000倍 50 g	3日前まで	3回以内		
特別④	9/10~15頃	うどんこ病 炭疽病 落葉病	ナリアWDG ***	2000倍 50 g	前日まで	2回以内	300 ^{リットル}	早生品種の収穫時期が近いため、使用時期に十分留意する。
特別⑤	9/25~30	カイガラムシ類	トランスフォームフロアフル	2000倍 50 ml	前日まで	3回以内	300 ^{リットル}	カイガラムシ類の発生が多い圃場では必ず散布する。

ラベルを必ず確認し、登録内容(倍率、収穫前日数、回数など)を遵守してください!また器具の洗浄は十分に行ってください。
 暦にない薬剤を使う場合は必ず指導員に相談してください。
 ※ストピットⅡの柿への登録はありますので在庫がある方は今年も使用できます。
 ※※WDG剤はさらさらとゆっくりとタンクの水に投入すると溶けやすい。一度に水に入れると固まるので注意すること。

住宅地における農薬使用について
 農薬使用者は住宅地において農薬の飛散防止措置を講ずるよう努めなければならないと規定されています。これを受けて、公共施設・住宅地に近接する場所における病害虫の防除については極力、農薬散布以外の方法をとること。ただし、やむを得ず農薬を使用しなければならない場合は注意事項(散布に関する事前の周囲への周知、飛散防止のための天候や時間帯に関する配慮)などの遵守に努め住民の健康に被害を及ぼすことのないように最大限配慮するようにしてください。